

2024年4月 東京地区百貨店売上高概況

2024年5月24日

I. 概況

| | |
|---------------|--|
| 1. 売上高総額 | 1,352億円余 |
| 2. 前年同月比(増減率) | 10.8%(32か月連続プラス) |
| 3. 店頭・非店頭の増減 | 店頭11.6%(92.4%)：非店頭2.3%(7.6%) ()内は店頭・非店頭の構成比 |
| 4. 調査対象百貨店 | 12社 22店 (2024年3月対比±0店) |
| 5. 総店舗面積 | 742,301㎡ (前年同月比：+2.0%) |
| 6. 総従業員数 | 13,323人 (前年同月比：-4.7%) |
| 7. 3か月移動平均値 | 9-11月 8.1%、10-12月 7.8%、11-1月 7.4%、 12-2月 9.7%、1-3月 11.7%、2-4月 13.2% |

[参考] 2023年4月の売上高増減率は11.5%

【特徴】

4月の東京地区は、売上高10.8%増(32か月連続)、入店客数0.9%増(16か月連続)と、共に前年実績を上回った。増勢が続くインバウンドが牽引した他、物産展等の施策も売上増に寄与した。2019年比でも7.5%増とプラス基調は継続している。

商品別では、主要5品目のうち食料品を除く4品目で前年をクリアした。具体的なアイテムの動向は以下の通り。

主力の衣料品(8.6%増/31か月連続)は、月の前半、雨天が多く季節商材の動きが鈍かったが、後半からの気温上昇に伴い、カットソーやブラウス、薄手のカーディガン等が好調に推移した。婦人洋品では、晴雨兼用傘や帽子、スカーフ等が活発に動いた。

身のまわり品(23.4%増/32か月連続)は、ラグジュアリーブランドが一部価格改訂前の駆け込みもあって二桁増となり、構成比も2割を超えた。またGWの外出需要から、スニーカー等カジュアルシューズが好調だった他、サンダルにも動きが見られた。

雑貨(18.9%増/32か月連続)では、化粧品が気温上昇でUVアイテムに動きが見られた他、高額商材の美術・宝飾・貴金属は、インバウンド需要から時計を中心に好調に推移し、24.3%増と先月に続き大幅に伸長した。

食料品(1.6%減/4か月ぶり)は、桜の開花が後ろ倒しになったことで、花見商戦本番が当月にずれ込み惣菜・弁当等が好調に推移した。菓子も帰省や国内外の手土産需要から堅調だったが、生鮮食品は価格上昇の影響から1.7%減と7か月ぶりにマイナスとなった。

5月中間段階の商況は、労働節(5/1~5)でインバウンドが伸長し、前年比19.7%増(5/16時点)で推移している。2019年比でも23.6%増と高い伸びを見せている。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比 ±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数16店舗)
①増加した：7店、②変化なし：4店、③減少した：5店
- (3) 4月歳時記(春物商戦、GW)の売上 (同上/有効回答数11店舗)
①増加した：7店、②変化なし：3店、③減少した：1店

東京地区百貨店 売上高速報 2024年4月

| | 売上高(千円) | 構成比(%) | 対前年増減(-)率(%) |
|----------------|--------------------|--------------|--------------|
| 総 額 | 135,233,992 | 100.0 | 10.8 |
| 紳士服・洋品 | 10,607,134 | 7.8 | 10.7 |
| 婦人服・洋品 | 22,597,170 | 16.7 | 10.5 |
| 子供服・洋品 | 3,079,408 | 2.3 | -1.4 |
| その他衣料品 | 1,430,560 | 1.1 | -8.3 |
| 衣 料 品 | 37,714,272 | 27.9 | 8.6 |
| 身のまわり品 | 27,494,910 | 20.3 | 23.4 |
| 化粧品 | 11,748,600 | 8.7 | 15.1 |
| 美術・宝飾・貴金属 | 16,459,022 | 12.2 | 24.3 |
| その他雑貨 | 4,864,035 | 3.6 | 11.5 |
| 雑 貨 | 33,071,657 | 24.5 | 18.9 |
| 家 具 | 1,425,587 | 1.1 | 7.8 |
| 家 電 | 1,148,676 | 0.8 | 4.1 |
| その他家庭用品 | 2,910,813 | 2.2 | 2.8 |
| 家 庭 用 品 | 5,485,076 | 4.1 | 4.3 |
| 生 鮮 食 品 | 2,978,448 | 2.2 | -1.7 |
| 菓 子 | 7,617,754 | 5.6 | 0.8 |
| 惣 菜 | 5,911,025 | 4.4 | 0.9 |
| その他食料品 | 8,125,863 | 6.0 | -5.5 |
| 食 料 品 | 24,633,090 | 18.2 | -1.6 |
| 食 堂 喫 茶 | 2,387,249 | 1.8 | 2.3 |
| サ ー ビ ス | 2,037,575 | 1.5 | 2.5 |
| そ の 他 | 2,410,163 | 1.8 | -6.2 |

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

| | | |
|---------|------------------------|------|
| 商 品 券 | 1,322,022 千円 | -6.6 |
| 従 業 員 数 | 13,323 人 | -4.7 |
| 店 舗 面 積 | 742,301 m ² | 2.0 |

| | | | |
|---------|--------|----|--------|
| 営 業 日 数 | 30.0 日 | 前年 | 30.0 日 |
|---------|--------|----|--------|

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は食料品を除く4品目でプラスとなり、身のまわり品、雑貨は二桁増となった。その他の品目は、紳士服・洋品が3か月連続、化粧品が32か月連続でプラスとなったほか、家電が7か月ぶりでプラスとなった一方、生鮮食品が7か月ぶりにマイナスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

| 商品別 | 売上前年比 (増減率) | 寄与度 | トレンド |
|---------------|----------------|-------------|------------------|
| 総額 | 10.8 | — | 32か月連続プラス |
| 紳士服・洋品 | 10.7 | 0.8 | 3か月連続プラス |
| 婦人服・洋品 | 10.5 | 1.8 | 32か月連続プラス |
| 子供服・洋品 | -1.4 | -0.0 | 2か月連続マイナス |
| その他衣料品 | -8.3 | -0.1 | 2か月連続マイナス |
| 衣料品 | 8.6 | 2.5 | 31か月連続プラス |
| 身のまわり品 | 23.4 | 4.3 | 32か月連続プラス |
| 化粧品 | 15.1 | 1.3 | 32か月連続プラス* |
| 美術・宝飾・貴金属 | 24.3 | 2.6 | 11か月連続プラス* |
| その他雑貨 | 11.5 | 0.4 | 3か月連続プラス* |
| 雑貨 | 18.9 | 4.3 | 32か月連続プラス |
| 家具 | 7.8 | 0.1 | 7か月連続プラス |
| 家電 | 4.1 | 0.0 | 7か月ぶりプラス |
| その他家庭用品 | 2.8 | 0.1 | 2か月連続プラス |
| 家庭用品 | 4.3 | 0.2 | 2か月連続プラス |
| 生鮮食品 | -1.7 | -0.0 | 7か月ぶりマイナス* |
| 菓子 | 0.8 | 0.1 | 7か月連続プラス* |
| 惣菜 | 0.9 | 0.0 | 4か月連続プラス* |
| その他食料品 | -5.5 | -0.4 | 3か月ぶりマイナス* |
| 食料品 | -1.6 | -0.3 | 4か月ぶりマイナス |
| 食堂喫茶 | 2.3 | 0.0 | 26か月連続プラス |
| サービス | 2.5 | 0.0 | 4か月連続プラス |
| その他 | -6.2 | -0.1 | 2か月連続マイナス |
| 商品券 | -6.6 | -0.1 | 2か月連続マイナス |

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した

お問い合わせは、日本百貨店協会 橘・長柴 まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>